

## ガイドライン内 事前協議チェックリスト (竹の塚北地区)

300109

Ver.B.1

【様式B】

記入日	
計画名	

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
公共施設との一体的整備	公園・広場	防災上も有効となる安全で開放的な団地内のオープンスペースの創出		<input type="checkbox"/>
		シンボルツリーや既存樹木の活用、ベンチなどの配置により、潤いのある人々の憩い・交流の場を創出		<input type="checkbox"/>
	生活道路と歩行者空間	地域の生活道路と緑豊かな沿道空間を整備し、魅力ある道路景観を形成		<input type="checkbox"/>
		歩行者にやさしい安全で快適な景観を形成		<input type="checkbox"/>
		道路交差点部は歩行者の安全性と車両交通の円滑性を考慮し、見通しコーナーを整備		<input type="checkbox"/>
	鉄道の軸	歩行者・自転車専用道路を設けるとともに、建物の外壁の位置をセットバックし、ゆとりある緑空間を創出		<input type="checkbox"/>
		建物間のオープンスペースやシンボルツリー等により建築物の圧迫感を緩和し、やわらかな潤いのある景観を形成		<input type="checkbox"/>
豊かな緑環境の継承・拡充	既存樹木の保存・活用	地区内の保存に適した樹木は原則保全し、緑豊かな景観を継承		<input type="checkbox"/>
		歩道状空地内の保存に適した樹木は原則保存・活用し、変化のある歩行者空間を形成		<input type="checkbox"/>
	緑の拡充	道路沿いや団地内通路沿いに新たな植樹を行い、既存の緑と合わせて緑のネットワークを形成		<input type="checkbox"/>
		ゆとりある歩道状空地を確保するとともに、新たな植樹を行い、緑豊かな沿道空間を創出		<input type="checkbox"/>
		地域の象徴やアイストップとなるようなシンボルツリーの植樹		<input type="checkbox"/>
	緑の連絡軸	2つの団地の結節点となる場所に広場・緑地を創出し、緑の連絡軸としての景観を形成		<input type="checkbox"/>

周辺 地域と 調和 した 良好な 住宅地	建物 配置 や高 さ	竹の塚七丁目団地は、わずかにハの字に向かい合う配置			<input type="checkbox"/>
		西保木間四丁目団地は、雁行配置			<input type="checkbox"/>
		竹の塚七丁目団地は、南側から北側に向かって、なだらかな勾配のあるゾーニング			<input type="checkbox"/>
		西保木間四丁目団地は、地区外周部は中層程度、団地中央部を高層ゾーンとする			<input type="checkbox"/>
	際 の 処 理	周辺市街地との調和や建物配置を配慮するなど、緩やかな際の処理			<input type="checkbox"/>
道路	新設する地域の生活道路は、適切な幅員の車道、歩行者空間を確保し、沿道を緑化			<input type="checkbox"/>	
	既存道路の沿道は、団地側に歩道状空地を設け、ゆとりある歩行者空間を創出			<input type="checkbox"/>	
	横断歩道等の適切な配置、景観を阻害しない横断防止柵の設置などにより、安全な道路環境を整備			<input type="checkbox"/>	
	街路灯は、必要な照度が確保できるようバランス良く配置			<input type="checkbox"/>	
	道路や歩行者空間のバリアフリーに配慮			<input type="checkbox"/>	
公園	既存樹木を活かすとともに、新たな樹木をバランス良く配置し、面的な広がりをもった緑を確保			<input type="checkbox"/>	
	照明灯は、必要な照度が確保できるようバランス良く配置			<input type="checkbox"/>	
	公園に隣接する歩行者空間のバリアフリーに配慮			<input type="checkbox"/>	
緑化計画	保存に適した樹木は原則保全			<input type="checkbox"/>	
	常緑樹のほか花木も取り入れ、四季の移ろいを感じられる魅力的な景観を形成			<input type="checkbox"/>	
	緑化基準を遵守するとともに、空地をできる限り緑化するなど、積極的な緑化			<input type="checkbox"/>	
	緑化にあたっては地域の在来種に適合した樹種の選定に配慮			<input type="checkbox"/>	

外構関係 ・ 附属物		駐車場などの屋外施設は、道路や広場からの見え方に配慮			<input type="checkbox"/>
		駐車場は、周辺に生垣や植栽柵を設けるなど景観に配慮するとともに、死角をつつらない			<input type="checkbox"/>
		駐輪場は、足元に低木を設けて緑化するなど景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		ごみ置き場は、緑化による目隠しや建物と一体感のあるデザインとするなど景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋外灯は、必要な照度が確保できるようバランス良く配置			<input type="checkbox"/>
		案内板等のサイン計画は、景観に変化を与えるポイント的なデザインとするとともに、周囲の建物との調和に配慮			<input type="checkbox"/>
舗装		通路や歩道状空地に用いる舗装素材は、アスファルト舗装とし、透水性など環境に配慮			<input type="checkbox"/>
		街角や車の導入口は、その場の視認性を高めるよう工夫			<input type="checkbox"/>
		ユニバーサルデザインに配慮した舗装材料を積極的に採用			<input type="checkbox"/>
屋外 広告物	都営住宅	原則、屋外広告物を設置しない。案内板等は景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
	公共 公益施設	公園や住宅に面して屋外広告物を設置する場合は、景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋外広告物は、著しく圧迫感を与える大きさを避け、周辺とのスカイラインの調和に配慮した高さ			<input type="checkbox"/>
		壁面広告は、建物壁面のバランスを考慮した大きさとし、建物のファサードデザインを著しく乱さないよう配置、形状に配慮			<input type="checkbox"/>
		突出広告は、沿道景観を乱さないよう、形状を揃え、壁面線に沿って規則正しい配列となるよう配慮			<input type="checkbox"/>

環境に 配慮した 取り組み		浸透枿等の配置や透水性舗装の採用 など、自然環境を保全、再生する取 り組み			<input type="checkbox"/>
		省エネルギー化の推進、自然エネル ギーの活用等に配慮			<input type="checkbox"/>
		リサイクル材の活用や廃棄物の削減 等に配慮			<input type="checkbox"/>
色彩	都 営 住 宅	ベースカラーは、Y R（黄赤）系の 高明度・低彩度のベージュ色を使用			<input type="checkbox"/>
		サブベースカラーは、Y R（黄赤） 系の中明度・中彩度色を使用			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーを使用する場合 は、サブベースカラーより高明度、 高彩度の色相を効果的に使用			<input type="checkbox"/>
	公 共 公 益 施 設	建物の規模に応じて「足立区景観計 画における色彩基準Ⅰ～Ⅱ」を遵守			<input type="checkbox"/>
		強調色として原色に近い高明度、高 彩度の色を用いる場合は、区道に面 する箇所以外には使用しない			<input type="checkbox"/>

(注) 太枠内のみ記入すること。

なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。